令和元年5月までの政府による農協改革集中推進期間が経過しましたが、当JAではJAの運営者である組合員の皆様からの声を事業に反映・実現し「なくてはならないJA」となるよう、引き続き「自己改革」に取り組んでおります。その中で今回は管内3か所の農業者への出向く営農指導とともに組合長が同行し、意見交換を行いました。

なくてはならない JAに!

農業者の声にお応えします

産直農家 加藤 寛一郎さん(瀬戸市)

今困っているのは、人出不足とトラクターの購入費用です。トラクターは助成金を使うと新品を購入することになり、負担が大きくなってしまうため



中古品の斡旋などができるといいですね。またプチヴェールを栽培していますが、きっかけはJAから中規模農業者でも収入が確保できることを勧められたから。500万円~700万円くらいの農業収入が確保でき農業者が生活できるような施策や取り組みを期待しています。

石黒 組合長 7月に旧瀬戸支店跡地に㈱キセキ関西 中部瀬戸営業所が移転予定です。トラク ターの希望に関しては対応させていただけると思 います。また農業者の大多数が家族農業を営んで おり、その家族農業を守っていくことが私たちの使 命です。引き続き出向く営農担当者を通して所得 向上に結び付けるようなサポートをしていきます。

いちじく農家 山本 あゆみさん(豊明市)

傷や天候によって出荷できないイチジクをドライフルーツなどに加工していただいていますが、縦切りだとドライフルーツにできるものが少ないためよりロスが少なくなるような切り方など加工の検討をしてほしいです。また、肥料や農薬



など「ここに行けばなんでしたでしたでも大」と思えるが良いです。

石黒 組合長 より多くの皆様に食べていただけ るよう加工方法を工夫してまいりま す。農業資材に関しましては、現在ある統一 商品の取扱いによる価格低減に取り組んで おりますが品揃えの充実に向けた検討を今 後実施していきます。専門的な資材も取り揃 えることで、組合員の皆様の生産から出荷ま

でを全面的にサポートしていきます。

ぶどう農家 福岡 英憲さん (日進市)



今年度、ぶどうジュース加工時に出る破棄部分を使った加工品の開発をJAと 検討しています。新たな加工施設のおかげで、頭を抱えていた問題もJAと協同 することによって解決できそうで、ありがたい取り組みです。あとは鳥害がかな り酷いため、JAの力を発揮してなんとか対策を検討していただきたいです。

石黒 組合長 加工品の完成によってそこから新たな供給先が広がることを期待しています。じっくりと調整しながら開発に取り組んでいきましょう。 また当JA管内全体でも鳥獣被害が拡大していることから持続可能な農業環境を支えることを目的とし、昨年度農機具等への助成を行いました。ご期待に添えるよう今後も様々な形で鳥獣被害対策を検討していきます。